

# 大道理かわら版 むくろじ

発行元  
大道理夢求の里交流館  
運営協議会  
TEL: 0834-88-1830

平成27年  
8月1日号  
(No.4)

大道理地区の世帯数と人口  
世帯数 191世帯  
人口 403人  
男性 181人  
女性 222人  
(平成27年6月30日現在)

## 「元氣創出！どこでもトーク」で 村岡県知事来館

去る六月二日、村岡山口県知事が夢求の里交流館に『元氣創出！どこでもトーク』という企画で来館されました。こちらは、県知事自身が県内各地でいろんな地域の課題を聞き、県政の施策の充実を図りたいとの考えのなかで実施されている取組です。

現在、山口県では『元氣創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン』（平成二十七年三月策定）特に重点的に進める施策として、未来を拓く五つの未来開拓戦略と、十五の突破プロジェクトからなるプランに取り組んでいます。先述の『元氣創出！どこでもトーク』はまさに、このプランをより良いものにし、山口県民が未来に向けて、幸せになるための仕組みづくりでもあります。大道理地区を取り組んだ『夢プラン』の山口県バージョンと考えると頂ければ解りやすいと思います。

### 活力みなぎる山口県の姿

プランの基本目標は『活力みなぎる山口県』（計画期間 平成二十六年度～平成二十九年年度）というもので、目標が実現された場合の山口県の姿としては、『各地域ではお互いの絆を大切に、支え合い、助け合い（共助）の活動が広がっている。また、地域の資源・魅力を活かした新たなビジネスが展開されている』（未来創出やまぐち未来開拓チャレンジプラン基本目標『活力みなぎる山口県の姿』より抜粋）というものとなっております。私も、大道理がこうした地域になっていけば素晴らしいと思います。

### サロン、ほたる工房へ笑顔の視察

話を本題に戻します。当日村岡県知事のスケジュールとして、まず、ほたる工房の作業を視察され、秋貞啓子代表に弁当作りの説明を受けられました。



上：村岡県知事に説明するほたる工房、秋貞代表

続いて体育館に移動。当日開催されていたミニサロンを見学されました。この日のサロンは、ほたる祭りも近いという事で、参加者の皆さんは、楽しくおしゃべりしながら、祭りで使う行燈の補修作業をしておられました。県知事も会場をまわりながら、サロン代表の森藤ふみ子さんからサロンについての説明を聞いたり、お年寄りの皆さんに笑顔で声をかけたりされていた姿が印象的でした。



左：サロンでの行燈修理の様子を見学される県知事

### 代表者六名、熱い想いを県知事へ

二つのプログラムの後、会場を交流館大会議室に移し、大道理の代表六名（参加者 大道理をよくする会土田友己会長、大道理をよくする会前互助部兼俊勉部長、サロンの森藤ふみ子代表、ほたる工房秋貞啓子代表、大道理夢求の里交流館運営協議会 中村俊道会長、百笑倶楽部 井上正幸会長）と知事との意見交換が行われました。



意見交換会の様子

こちらの会では地区代表者6名が順番に、今抱えている課題、これまでの取り組み等をそれぞれに述べていく形で進んでいきました。大道理の課題としては、少子高齢化、高齢化率50%超の中での地域の担い手の問題、高齢者のケア、交流人口の増加を呼び込める地域づくり、農産品の物流の仕組みづくり、具体的には、農産品を町に持って行くのではなく、町から田舎に買いに来る仕組み等が挙げられました。

最後に村岡県知事は『厳しい厳しいという中で、知恵を出して、力を合わせてやっていく事が大変重要だと思います』と言われ、また、大道理の努力、知恵の部分をしっかり応援したいと思うとおっしゃいました。

### 発想力豊かな地域づくりをめざして

これからの中山間地域、そして大道理は、地域資源（気候・風土・人・農業）を地元の方が知恵を出し有効的に活用できるかどうかが大切になってきます。極端な話、道端に転がっている石さえ宝にしてしまおう。発想力、企画力と実行力が今後の地域活性化の鍵を握っているのではないのでしょうか。

頑張る地域とそうでない地域では差が出てきます。大道理活性化のには様々な面で関係機関・行政の支援が必要です。その為にもきちんとしたビジョンと弛まぬ泥臭い努力の積み上げこそが、『明日の幸せ大道理』の姿に繋がるのではないかと思います。

（文責：山田憲正）



上：帰り際にサロン参加者と握手される県知事



左：村岡県知事を笑顔で見送るサロン参加者の皆さん



### 夢求の里交流館日記帳

#### 「お茶摘み」五月二十二日(金)晴れ

(原君子さん 栗山宣行さん)

大道理地区の「もやい便」を利用してサロンに来られる原さんから朝、お電話を頂きました。もやい便を利用して、元々お住まいになっていた地域にお墓参りとお茶摘みに行きたいとのこと。それならば私も是非念願のお茶摘みを体験したいということ。もやい便に同乗して、お茶摘みを一緒にさせていただきます。元々住んでおられたご自宅近くにあるお茶の木の茶摘みをしたかと思われていたが、車に乗られない原さんは、思案の末に交流館に電話され、もやい便を利用して今回お茶摘みに行かれました。



もやい便運転手の栗山さんも一緒にお茶摘み！



ご自分で植えられたお茶の木の茶摘みをされる原さん

「片手で枝を持って、もう片方の手でシュツとやるんよ。」お茶摘みをされる動作を見せて下さりながら、原さんがコツを教えてくださいました。長年お茶摘みをされてきた原さんがされる様子を見ると、簡単に見えますが、実際やってみるとなかなか難しく、葉っぱだけでなく枝まで一緒に採れてしまいます。終盤になってようやくコツがなんとなくわかってきました。お茶摘みを終えて再びもやい便に乗って、ご自宅に着いたとき、「今度サロンに行くときに交流館にお茶持って行くから」と仰ってくださいました。突然お茶摘みに同行しましたが、快く一緒にしてくださいました。色々とお話ししながらの楽しいお茶摘みのひと時をありがとうございました！

#### 「盆栽に恋して50年」五月十三日(水)晴れ

(鹿野地 有井昭元さん)

芝桜まつりの受付案内の時に一緒に鹿野地にお住まいの有井昭元さん。盆栽を長年にわたってされているという話を伺い、ぜひ見せてくださいとお願したところ、快く受けてください。ご自宅に伺って盆栽を見せて頂きながら盆栽や趣味などのお話を聞かせて頂きました。有井さんが仕事から帰宅されるとお聞きしていた午後五時半にご自宅へ伺ったところ、ちょうど盆栽に夕方二時間、朝一時間の水遣りを日課にされ、朝五時に起きて作業場で盆栽の手入れをされているそうです。「世話をせんといけんから病気になるれん」と仰り、百年ものの松の鉢などを次々に説明しながら見せて頂きました。盆栽には向きがあって、自分に向かつて真正面に木がお辞儀をしているような向きで見る」とも教えて下さいました。盆栽を始めた当初は松を主にされていたそうですが、現在は四季ごとに葉の色が変わり、また実が実る鉢も沢山で、どんな花が咲いて、どんな形や色の実が実るのかを話してくださいながら、「面白い。実がなったらキレイ！これはほかにはちょっとない！」と目を輝かせて大切な鉢を一つ一つ紹介して下さいました。



20代から大切にされている松の盆栽と

ご自分の中のマイブームになる種類の木があり、そうなる頭の中にチラついて「よう眠れんようになる」とあるほどだそうです。それだけにご自分が探し求めている形の木が見つかる、とてもうれしいと仰います。現在、戸田の道の駅「ソレーネ」で春と秋の年二回の展示会をされたり、大道理のふるさとまつりでの展示をされたりしておられる有井さん。二十代で始めた盆栽に恋し続けて五十年。長い長い時を経てゆっくり大切に育んできた鉢をキラキラとした目でご紹介いただき、とても楽しく素敵な時間を過ごさせて頂きました！ありがとうございます。

### 夢求の里交流館からのお知らせ

#### サロンのお誘い

毎月第4水曜日、サロンを開催しています

日時：8月26日(水)  
10時30分～16時  
場所：大道理夢求の里交流館 大会議室  
対象者：男女年齢問わず どなたでも歓迎  
会費：100円  
備考：お昼は軽食を用意します

#### ※8月はミニサロンお休みです

#### 大道理をよくする会からのお知らせ

##### 追悼盆踊り

日時：8月14日(金)  
19時30分～法要 20時～手踊り、さんさ踊り  
場所：大道理夢求の里交流館 ピロティ、グラウンド

##### ふれあい夕涼み会

日時：8月22日(土)  
17時から21時  
場所：大道理夢求の里交流館 ピロティ、グラウンド

##### 河川一斉清掃のご案内

日時：8月23日(日) 8時から  
清掃箇所：各自担当場所

※市民総合賠償保険届出済

#### 周南市健康増進課からのお知らせ

##### 周南市国民健康保険の特定健康診査(集団)

約1万円の特定健診が五百円で受けられます！

この機会をご利用ください。  
対象：周南市国民健康保険の加入者(40歳～74歳)  
日時：10月4日(日) 8時～11時  
会場：コアプラザかの

##### ★がん検診も同日実施しています



申込み 健康増進課 ☎0834-2218553

※申し込みは検診の十日前まで  
定員になり次第締め切ります。お申込みはお早めに！

### 大道理ほたる工房からのお知らせ

※7月、8月は道の駅「ソレーネ周南」でのお弁当の販売をお休みします！

#### 編集後記



今回から、交流館側の都合ですが、広報一日号と一緒に「むくろじ」を配布させていただくこととなりました。締切間際ギリギリになって、半分泣きながら原稿を仕上げた前回のことを踏まえ、また支所の山本さんからの鶴のひと声もあり、前回までの十五日号から一日号へと変更しました。

今回の一面、知事来訪特集の原稿は山田事務長の特別寄稿です！事務長も、前回私が味わった産みの苦しみと同様、懊悩しつつ原稿を仕上げられました。

梅雨明け間近でいよいよ本格的に夏の訪れとなります。そして学生さんたちは待ちに待った夏休み！井上館長のお孫さんの話を交流館で伺いながら、遠い昔の記憶の彼方となってしまった自分の中学三年時の夏休みを思い出しました。奇しくも？大道理と一字違いの防府市大道理地区育ちの私が高校受験を控えた中学三年時の夏休み、館長のお孫さんとは真反対で、受験勉強に不熱心で、まるで危機感のない中学生生活最後の夏休みを過ごしたことを思い出しました。夏季講習に通う同級生らを尻目に、友人たちと海でアサリを採ってみたい、虫取り網を持って野鳩を追いかけたり、

り…。今時の若者からすると信じられないような幼稚さで(良く言えば素朴?)原始的な遊びである狩猟と採集を楽しんでいました。受験生としては決して褒められないものではありません。それから、その後の人生は山あり谷あり波瀾万丈が待っていました。(汗)そんなこんな道のりがあって、現在の私があります。(山縣あきこ)